

農作物野生鳥獣被害対策アドバイザー登録票（基本情報）

473

ふりがな 氏名	おのだ たいじ 小野田 泰士					
所属先	所属先名称	合同会社東北野生動物保護管理センター				
	役職名	研究員				
専門分野	捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ 総合対策 ）					
対象鳥獣	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）					
対応可能地域	全国 北海道 東北 関東 北陸 東海 近畿 中国 四国 九州 沖縄 その他※特定の都道府県、地域（ ）					
免許及び資格	狩猟免許 （ 銃 ：取得年 平成30年、 わな ：取得年 平成30年 ） 鳥獣保護管理（ ） 鳥獣保護管理士（ ） その他（ ）					

活動実績	
活動期間	令和2年10月～令和3年3月
地域	宮城県白石市、宮城県大河原町、宮城県村田町、宮城県丸森町
対策の種類 ※該当に○を記入	捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） 利活用（食肉利用等） その他（ ）
対象獣種 ※該当に○を記入	シカ イノシシ サル クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） ハクビシン アライグマ アナグマ カラス カモ ヒヨドリ スズメ ムクドリ その他鳥獣（ ）
活動の内容	各市町から要望のあった地区で、地区住民を対象に研修会を実施。イノシシ及びサルの生態や、防除柵の種類ごとの設置方法やメリット・デメリット、設置後の管理の重要性について研修した。 その後、その研修と事前に実施した集落環境診断の結果をもとに、地区住民とともに現地を視察し、設置後の管理を見据えた設置ルートの提案をしたり、藪刈りなどを実施すべき場所や放任果樹などの除去すべき誘引物を共有したりした。 大河原町では、令和2年度中に柵の設置を実施したため、柵の設置にも参加した。設置方法や細かい設置ルートや、設置後の管理の重要性を改めて住民に指導した。 丸森町では、地区住民がイノシシを捕獲するための箱わなを設置していたが、捕獲に至らないとのことだったので、箱わなの設置場所や餌による誘引の方法などを指導した。

活動実績	
活動期間	平成30年8月～令和3年3月
地域	福島県南会津町
対策の種類 ※該当に○を記入	捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 <input checked="" type="checkbox"/> 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） <input type="checkbox"/> 利活用（食肉利用等） <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象獣種 ※該当に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> シカ <input type="checkbox"/> イノシシ <input type="checkbox"/> サル <input type="checkbox"/> クマ（ツキノワグマ・ヒグマ） <input type="checkbox"/> ハクビシン <input type="checkbox"/> アライグマ <input type="checkbox"/> アナグマ <input type="checkbox"/> カラス <input type="checkbox"/> カモ <input type="checkbox"/> ヒヨドリ <input type="checkbox"/> スズメ <input type="checkbox"/> ムクドリ <input type="checkbox"/> その他鳥獣（ ）
活動の内容	南会津町及び昭和村を夏季に利用している個体が越冬地としてどの地域を利用しているかを明らかにするため、両町内の各地で捕獲した個体にGPSを装着した。現在までに収集したデータにより、夏季に両町内を利用しているシカが冬季に利用している地域や、冬季に利用している植生等が明らかになりつつある。今後、それらのデータをもとに集中的に捕獲を実施する地域を選定するよう提案している。

活動実績	
活動期間	令和元年9月～令和2年3月
地域	福島県全域
対策の種類 ※該当に○を記入	捕獲手法 侵入防止技術 周辺環境整備 地域合意形成 <input checked="" type="checkbox"/> 野生動物管理（生息調査含む） 処理（焼却・減容化） <input type="checkbox"/> 利活用（食肉利用等） <input type="checkbox"/> その他（ ）
対象獣種 ※該当に○を記入	<input checked="" type="checkbox"/> シカ <input checked="" type="checkbox"/> イノシシ <input checked="" type="checkbox"/> サル <input type="checkbox"/> クマ（ ツキノワグマ ・ヒグマ） <input type="checkbox"/> ハクビシン <input type="checkbox"/> アライグマ <input type="checkbox"/> アナグマ <input type="checkbox"/> カラス <input type="checkbox"/> カモ <input type="checkbox"/> ヒヨドリ <input type="checkbox"/> スズメ <input type="checkbox"/> ムクドリ <input type="checkbox"/> その他鳥獣（ ）
活動の内容	福島県内の集落の代表者を対象に、4種の獣種の生息状況や被害状況、集落の状況に関するアンケートを実施した。その結果を集計し、市町村や県の担当者、JAの職員等を対象に研修会を開催した。研修会では、鳥獣被害対策の基本的な考え方として、防除と捕獲と環境整備の総合的な対策の重要性や、各獣種ごとの生態的特徴や対策についての講話を行った。その後、アンケート結果から分析した、今後の分布拡大や被害の拡大の恐れがある地域や、対策が奏功している集落、有効だと感じられている対策等について報告した。